

木更津市総合計画第4次基本計画策定に向けた タウンミーティング 実施結果報告書

令和8年1月～3月実施

木更津市 企画部 企画課

目次

- ・ タウンミーティングの目的・実施概要----- 2
- ・ 当日の様子----- 6
- ・ まとめ----- 67

開催概要 | タウンミーティングの目的・実施概要



きさポン

目的

木更津市総合計画第3次基本計画（令和5年度～令和8年度）の計画期間が満了することから、新たな第4次基本計画（令和9年度～令和12年度）を策定するために、市民の皆様が日頃感じている地域の課題や市政へのご意見を直接お聞きし、市民と行政が「協働」して魅力的なまちをつくるための対話の場として開催

実施概要

詳細は次ページ以降

- ・日時：令和8年1月～3月
- ・場所：各公民館
- ・参加人数：計143名（地区担当職員含む）
- ・形式：地区別ワークショップ

開催概要 | 実施概要

協議会名	開催場所	開催日時		住民 参加者数	地区担当職員 参加者数	参加者合計
富来田地区まちづくり協議会	富来田 地域交流センター	令和8年1月25日	13:30~15:30	21人	2人	23人
岩根西地区まちづくり協議会	岩根西 地域交流センター	2月1日	9:00~11:00	12人	2人	24人
岩根東地区まちづくり協議会				8人	2人	
金田地区まちづくり協議会	金田 地域交流センター	2月1日	13:30~15:30	12人	2人	14人
鎌足地区まちづくり協議会	鎌足 地域交流センター	2月6日	19:00~21:00	12人	2人	14人
中央地区まちづくり協議会	中央 地域交流センター	2月7日	13:30~15:30	3人	2人	12人
請西・真舟小地区まちづくり協議会				5人	2人	
中郷地区まちづくり協議会	中郷 地域交流センター	2月10日	19:00~21:00	21人	2人	23人

開催概要 | 実施概要

協議会名	開催場所	開催日時		住民 参加者数	地区担当職員 参加者数	参加者合計
八幡台小学校区まちづくり協議会	波岡 地域交流センター	令和8年2月28日	13:30~15:30	5人	1人	17人
畑沢地区まちづくり協議会				5人	1人	
波岡まちづくり協議会				4人	1人	
西清川まちづくり協議会	清見台 地域交流センター	3月8日	9:00~11:00	4人	1人	16人
清見台・太田地区まちづくり協議会				5人	1人	
東清川地区まちづくり協議会				4人	1人	

第4次基本計画の位置づけ

第3次基本計画の概要

計画の構成

基本構想

目標年次	令和12年(2030年)
内容	【将来都市像】 魅力あふれる 創造都市 きさらづ ～東京湾岸の人とまちを結ぶ 躍動するまち～ 【基本理念】 人・結ぶ・創造・躍動 【将来人口】 14万人と見込む

基本計画

対象年次	令和5年度(2023年度)～令和8年度(2026年度)
内容	第1章 第3次基本計画策定にあたって 第2章 第3次基本計画 施策別計画 第3章 第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略

実施計画

対象年次	単年度
内容	基本計画を推進するため、重点的・優先的に取り組む事業を位置づけた計画

基本構想 (政策)

- 平成26年(2014年)3月に改訂し、令和12年(2030年)の将来都市像「魅力あふれる 創造都市 きさらづ ～東京湾岸の人とまちを結ぶ 躍動するまち～」を掲げ、「人・結ぶ・創造・躍動」を基本理念に、5つの基本方向を定め、本市のまちづくりの指針としています。
- 将来人口(令和12年(2030年)の人口)を14万人と見込んでいます。

基本計画 (施策)

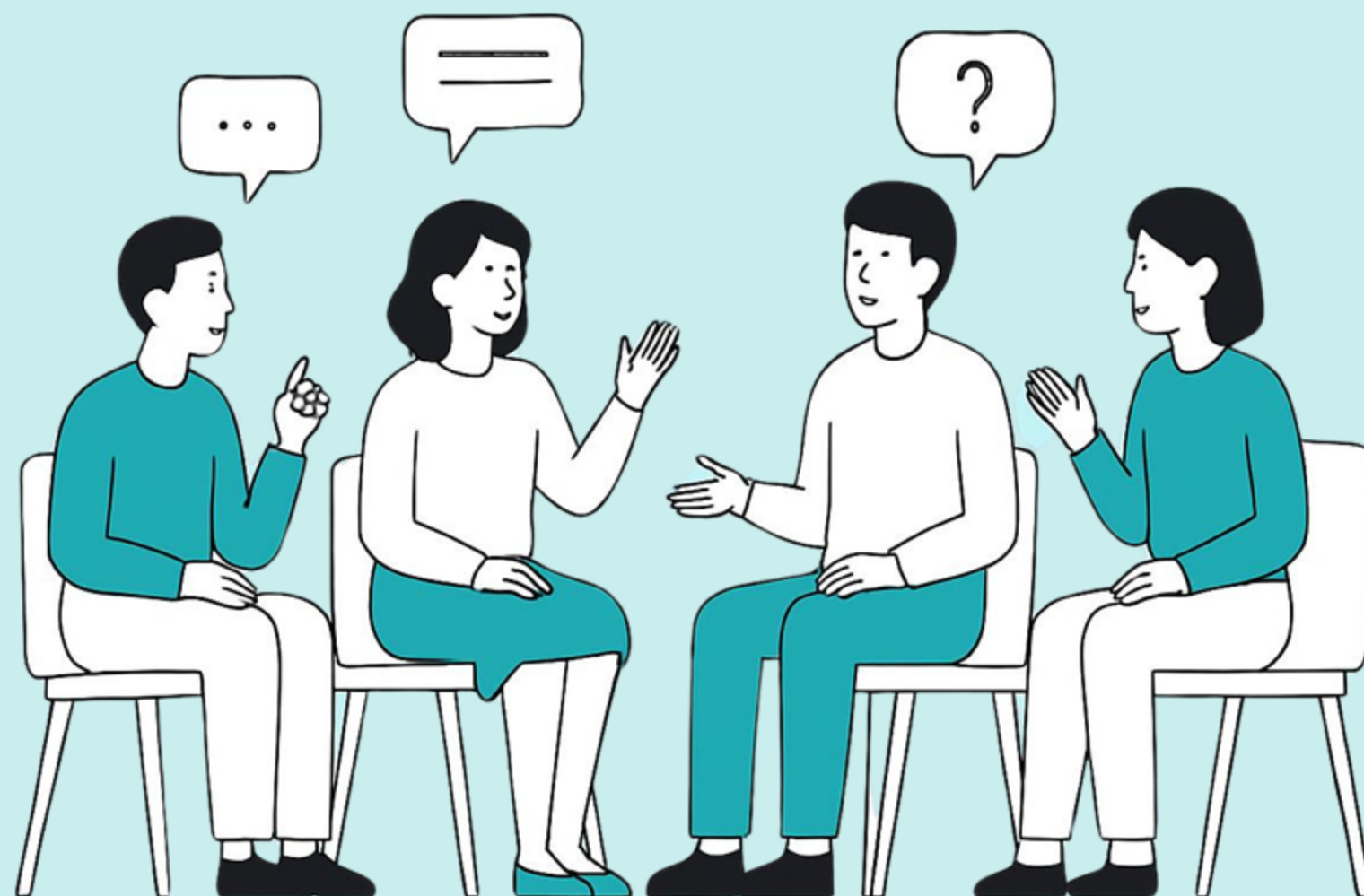
- 基本構想に掲げる将来都市像の実現に向け、基本政策ごとの施策体系や各施策の取組の方向性を示す中期的な計画です。
- 第3次基本計画は、令和5年度(2023年度)から令和8年度(2026年度)までの4年間とします。
- 令和4年度(2022年度)が市制施行80周年の節目の年であることから、まちづくりの現状や課題を整理・分析し、100周年を見据えたまちづくりの展望や重点戦略を示します。
- 地方創生の更なる深化・加速化を図るため、基本計画と一体的に取り組む、まち・ひと・しごと創生法に基づく「総合戦略」を定めます。

第1次
第2次
第3次
第4次

第1次基本計画から第3次基本計画までの実施状況などを踏まえ、次期基本計画に向けて、各地区の課題や他地区との連携、分野連携を踏まえた課題、さらには将来のありたい姿＝次の基本構想策定へ向けた市民の意向を把握する。

実施計画 (事業)

- 基本計画に位置づける各施策を計画的・効果的に推進するため、重点的・優先的に取り組む事業を位置づけた計画です。
- 計画期間は単年度とし、事業の進捗を踏まえ、年度ごとに事業内容や事業費などを取りまとめます。



タウンミーティング当日の様子

各地区のタウンミーティング結果

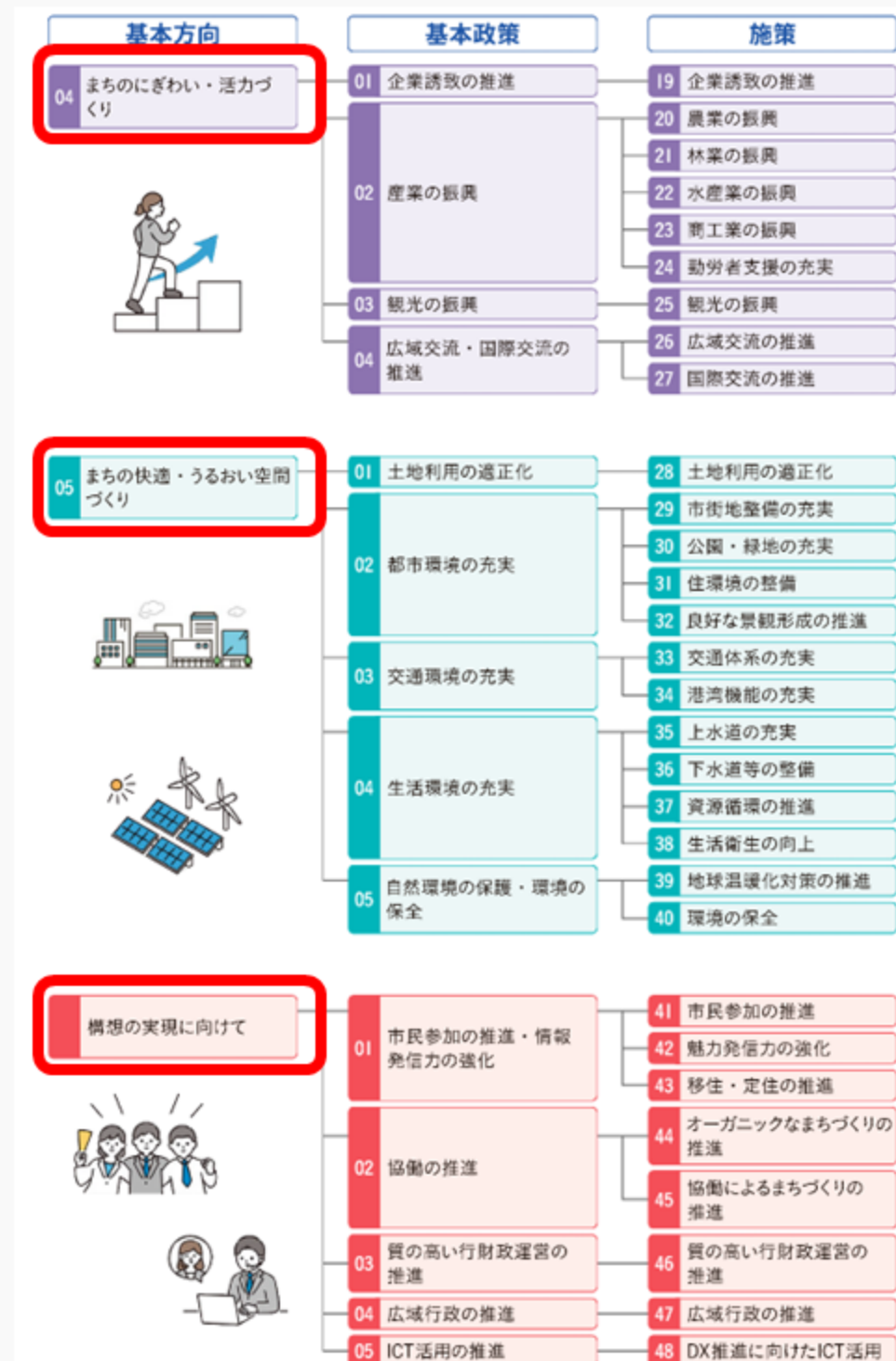
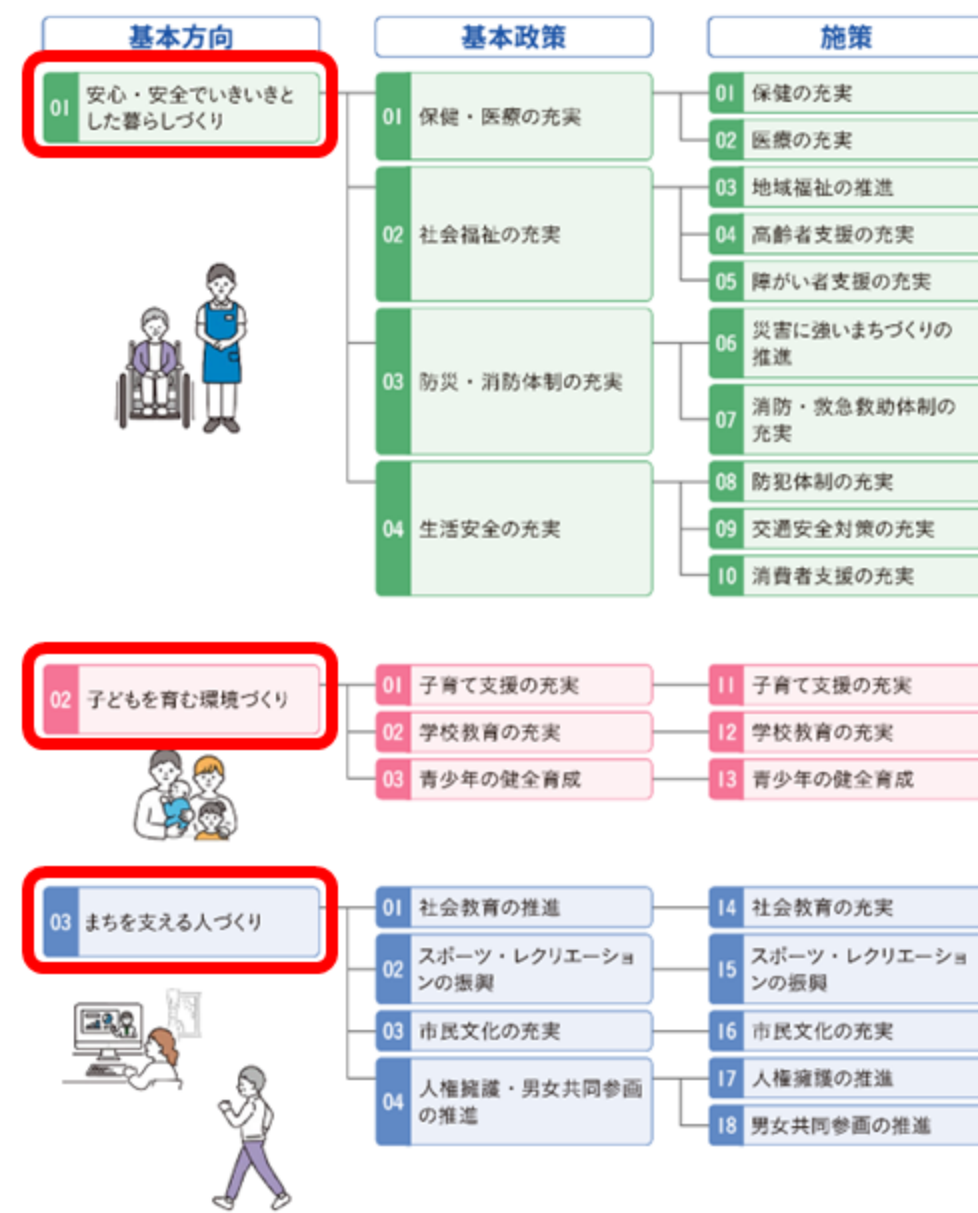
富来田地区まちづくり協議会	10ページ	中郷地区まちづくり協議会	38ページ
岩根西地区まちづくり協議会	14ページ	八幡台小学校区まちづくり協議会	43ページ
岩根東地区まちづくり協議会	18ページ	畑沢地区まちづくり協議会	47ページ
金田地区まちづくり協議会	22ページ	波岡まちづくり協議会	51ページ
鎌足地区まちづくり協議会	26ページ	西清川まちづくり協議会	55ページ
中央地区まちづくり協議会	30ページ	清見台・太田地区まちづくり協議会	59ページ
請西・真舟小地区まちづくり協議会	34ページ	東清川地区まちづくり協議会	63ページ

話し合うテーマの設定

第3次基本計画の基本方向を参考に各地区でテーマの設定を行いました。

2 第3次基本計画 ～施策体系～

第3次基本計画では、基本構想に定める5つの基本方向等に基づき、全48施策に取り組みます。



各地区の選んだテーマ

01

「安心・安全で
いきいきとした
暮らしづくり」
＋
「子どもを育む
環境づくり」

02

「まちを支える
人づくり」
＋
「まちのにぎわい・
活力づくり」

03

「まちの快適・
うるおい空間づくり」
＋
「構想の実現に
向けて」

表型のワークシート

テーマ	6つの基本方向から選択		
着眼点	安心・安全で生き生きとした暮らしづくり＋子どもを育む環境づくり	まちの賑わい・活力づくり＋まちを支える人づくり	まちの快適・うるおい空間づくり＋構想の実現に向けて
ヒト：市民生活に係る事項	例) 安心した生活に対する効率的な社会へ ・医療・福祉の現場に地産地消の食材を提供及び人材の確保育成	例) 木更津市のイメージアップと観光客へのサービス向上 ・観光振興や特産品開発などによる観光客への満足度を向上（学校との連携等）	例) 定期的な地域連携による産業が継続して発展する社会へ ・他地域や異業種間の連携を促進（枠組みの形成）
モノ：まちの形成に係る事項	例) 災害時も安心できる社会へ ・防災拠点への太陽光発電などの設置による安心した避難生活を確保	例) 賑わい・楽しみのある街・道・公園のある社会へ ・観光客が楽しく交流できる場を積極的に形成。旅館業などと連携し宿泊、さらに定住促進へ。	例) 老朽化の目立つ中心市街地の活性化による魅力向上 ・民間の力を活用し、特に中心市街地に対する魅力を高める。
カネ：事業予算（補助・助成等）に係る事項	例) 自然に優しい社会へ ・地域共有施設等への再生可能エネルギー設備への補助の強化補助	例) 地元企業が開発に積極的になれる社会へ ・国、県と連携し、新規開発に対する補助金確保と、企業への支援	例) 国の支援を上手に活用したまちづくり ・国交省や、環境省、総務省などが定める補助金などを上手に活用
その他：上記以外の事項	例) 課題を共有し安心できる場のある社会へ ・医療、福祉、子育てなど様々な課題を共有し、情報交換できる場を提供	例) 久留里線駅舎やバス停などを拠点とした憩いの場の提供と他地域への発信 ・映画やCMに使われる場所などを創出	例) 観光を契機にした定住促進が継続される社会へ ・市民農園⇒滞在型市民農園化⇒優良田園住宅といった施策の流れを形成

地図型のワークシート



付箋紙に、場所・実現したいことを明記
具体的な場所は●印や線、○などを示す

意見の要点（富来田地区まちづくり協議会）

01 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり ／子どもを育む環境づくり

高齢化や人口減少が進む中、移動手段や医療、インフラの維持に関する意見が多い結果となりました。



移動支援・
交通の確保



医療・
生活インフラ
の充実



子育て環境・
コミュニティ



都市計画・
土地利用

意見の要点（富来田地区まちづくり協議会）

02 まちを支える人づくり／まちのにぎわい・活力づくり

商業施設の衰退に対する危機感と、地域を活性化させるための開発やインフラ整備に関する意見が多い結果となりました。



商業・
生活利便性の
向上



防災・
インフラと
交通安全

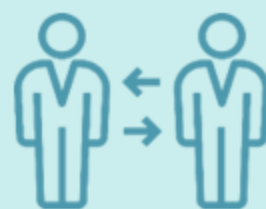


地域の
魅力向上と
コミュニティ

意見の要点（富来田地区まちづくり協議会）

03 まちの快適・うるおい空間づくり／構想の実現に向けて

地域の経済や産業の持続可能性に関する意見が多い結果となりました。



事業継承の
支援

意見のとりまとめ（富来田地区まちづくり協議会）



	選択テーマ1 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	選択テーマ2 まちのにぎわい・活力づくり	選択テーマ3 まちの快適・うるおい空間づくり
ヒト	・人口減少の解消 ・調整区域の見直しを ・高齢化が進む中で医療が少ない 整形・外科・眼科など ・ふくちゃんバスの運転手が少ない ・高齢になっても安心して生活できるまちをつくりたい ・人口14万人の目標（市） 富来田地区は市の目標とかけ離れている ・水道の口径が少ない ・家が建たない 日泉近く ・馬来田の太陽のところに信号機を設置してほしい ・ボルシェ通りに抜ける道の交通量が増加、交通安全面を高められないか（高齢者も多い） ・道路に歩道が少ない ・諏訪神社の交差点の整備	・国道沿いの開発を ガソリンスタンド・レストラン・etc… ・スーパー・商店がない。買いたい物が業務スーパーではない ・スーパーがなくなった ・商店が欲しい ・買物する場所が少ない ・ボランティア活動 農作業など地域で行えるものは地域で行う ・市街化調整区域をはずして欲しい →住民・業者に使いやすい形にして欲しい←企業誘致を積極的に進める	
ヒト・モノ	・水道の口径が少ない ・家が建たない 日泉近く ・医療・災害に強い		
モノ	・空き家の活用 ・医療機関が少ない ・消防力 消防団員が減っている ・子供の安全に遊べる場所として公園が欲しい	・神社前信号危険 ・交通安全対策の充実、諏訪原の交差点の間路？を解消してほしい ・ショッピングモール・スタンド ・馬来田駅前の活性化・商店・市の土地活用 ・いっせん木・草刈・整備を地域全体で ・空き家問題 ・災害時でも安心のまちづくり 中小河川整備 ・商店街の整備→住みやすいまちづくり ・コンビニの誘致（駅前）	
モノ・カネ	・子供の遊ぶ場所が少ない ・公園を作してほしい 子供たちの遊び場	・市の管理する公衆トイレの設置 ・久留里線を守る	
カネ	・公園が欲しい ・避難場が少ない ・武田川の水のにごりが多くなっている ・富来田エリア高齢者のタクシー券の配布金額を上げて欲しい ・デマンドタクシーの創設 市の介入で ・高齢化に対応したまちづくり まち協が行っているふくちゃんバス ボランティアでは限界、行政が介入した移動支援を ・地域内に買い物ができる場所が欲しい ・地域内の循環バスがあってもいいのではないかな	・消火栓が欲しい ・安心安全で生活まちづくり インフラ整備を力を 都市計画道路を 下郡-大稲線 ・財源 都市計画税	
カネ・その他		・中学校奥道路が狭くなっている ・若い人の県外からの移住を促進 定住魅力をアピール ・里山を活用する ・施設の整備→地域の魅力を高める	
その他		・コミュニケーションを高める 集まりが少ない 担い手不足	・事業継承センターの設立 ・事業継承 後継者がいない・事業を丸ごと継承させる

意見の要点（岩根西地区まちづくり協議会）

01 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり ／子どもを育む環境づくり

水害への懸念が強く、排水路確保や水門設置、福祉避難所、防犯カメラ設置、空き家対策に関する意見が多い結果となりました。



防災・
水害対策



福祉・
避難支援



防犯・
空き家対策

意見の要点（岩根西地区まちづくり協議会）

02 まちを支える人づくり／まちのにぎわい・活力づくり

巖根駅への快速列車の停車など交通拠点強化、運動場などを連動させた人流創出、新旧住民のふれあい不足に関する意見が多い結果となりました。



駅周辺・
港の開発



人の流れと
交流づくり

03 まちの快適・うるおい空間づくり／構想の実現に向けて

道路のバリアフリー化や地域交流センターへのエレベーター設置、ゴミ集積所の鳥被害や耕作放棄地の害獣対策に関する意見が多い結果となりました。



バリアフリー
と
インフラ整備



環境・
害獣対策

意見のとりまとめ（岩根西地区まちづくり協議会）



	選択テーマ1 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	選択テーマ2 まちのにぎわい・活けづくり	選択テーマ3 まちの快適・うるおい空間づくり
ヒト	・福祉避難所への直接避難を可能に！※要支援者の見直しにより、今後障害者・要介護者の地域支援が増える！ ・空き家対策：申請しても手続きが難しく進行しない。また行政側の形が見えない。 ・Jアラート発令時の対応（シェルター構築） ・危機感の不足、避難訓練者「少」、学校教育 ・避難体験・避難所生活など触れる機会 ・雑草：歩道が狭く ・万石地区内：交差点の事故が多い、カーブミラーの設置	・木更津駅の木更津市の顔にする改革 ・巖根駅に快速を停車 ・新住民と旧住民のふれ合い、話し合い不足 ・人を集める施設（例）ドイツ村、南房総 ・木更津港の開発	・公民館にエレベータ又は1人乗りエスカレータの設置を※長寿化対策 ・放棄地が樹木が繁殖し、害じゅうの住処になっている。（例）はくびしん ※地元で勝手に手出しできない→やって良いか。
ヒト・モノ		・小規模でも良いので、子供が遊べる公園をちょっと行ってみようという近所に作る ・クルーズ船など港を活かす（大型でなくとも）	
モノ	・避難場所、避難所の設置、整備、充実 ・岩根地区排水路の確保 ・岩根西地区：水害対策、排水対策、水門設置 ・防災・井戸の保存 ・ドローンステーション（防災、農業、など） ・高潮、河川はらんのような溢水で避難行動が明確にされていない。	・江川総合運動場、久津間・防災公園キャンプ場、直売所（人の流れを作る）	・スマートシティの構築：インフラ、電気、コンパクト化（SDGs） ・グリーンシティ木更津の構築、カーボンニュートラル木更津 ・過疎地の交通手段の整備 ・生活用水路の整備 ・ゴミ集積場所、カラス被害、鳥獣被害対策 ・調整区域内の農業 ・農業用用水路の整備 ・小規模開発（無秩序）：要項（ハードル）が低くなっているので人口を増やすことに注力？もっと土地・地域考えて。 ・巖根駅に快速を
モノ・カネ		・木更津～君津間に新駅を	
カネ	・防犯の拡大（監視カメラ）、野火、火災対策、放棄地整備、助成		
カネ・その他	・大雨時水路レベル確認に地元の関係者が現地に出向くことの解消を。 ※人災リスクの減少	・古い市営住宅を廃止し、多目的広場等に利用	・数十年前に建設された道路がバリアフリー化されないまま放置されている
その他	・（中島商店付近）横断歩道の設置を要望したが何の返事もない。市民とのやりとりをしっかりと。 ・西中学校の外壁塗装がメンテナンスされていない。 ・AI活用で業務改革 ・SAF改修ステーション（天ぷら油等）（SDGs） ・フラワー通りの通学路のけやきが舗装をもち上げている。また、枯葉山がすごく清掃してくれない。	・テーマパークをつくる、または誘致する ・映画、ドラマ、CMなど ・全国大会（スポーツ）を開ける施設をつくる（体育館、スタジアム）	・盤洲干潟の次世代に引継を。※保全活動の現状は？ ・里山の開発、移住の拡大（ハーブ園等） ・オビツ川とふれあいができる場所がほしい。

意見の要点（岩根東地区まちづくり協議会）

01 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり ／子どもを育む環境づくり

高齢化や単身世帯の増加を見据え、移動スーパーなど買い物難対策や住民同士の共助、町内会役員の担い手不足による地域コミュニティ維持への危機感に関する意見が多い結果となりました。



高齢化と
買い物難



地域
コミュニティ
の危機

意見の要点（岩根東地区まちづくり協議会）

02 まちを支える人づくり／まちのにぎわい・活力づくり

共通テーマが話しにくい縦割り行政や、公共交通が少なく移動が車中心になっている課題、新住民との連携による町内会・消防団の維持、公園の充実に関する意見が多い結果となりました。



行政への
課題



移動手段と
コミュニティ

03 まちの快適・うるおい空間づくり／構想の実現に向けて

町内会の今後のあり方や組織の見直し、空家対策、巖根駅周辺の再開発、道路や駅ロータリーの拡張、高速バス・総武快速の停車など交通インフラの拡充に関する意見が多い結果となりました。



町内会組織の
見直し



インフラと
駅の再開発

意見のとりまとめ（岩根東地区まちづくり協議会）



	選択テーマ1 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	選択テーマ2 まちのにぎわい・活力づくり	選択テーマ3 まちの快適・うるおい空間づくり
ヒト	・買い物難（移動スーパーが周辺にあると良い） ・全員参加の分担で分かり合う地域を創る。声を掛け合う。 ・少子高齢化社会の課題をかかえる中、行政（公助）だけでは限界、民（住民、産業界）協力できる場、共助ができるか	・地域の祭礼⇔町内会のイベント ・行政担当課との話し合いは理解が深まりつつあると思ったとたん2年で担当がかわってしまう。話が深まらない。 ・防火防災に強いまちづくり（住宅用火災警報機の設置、住宅用消火器の設置、感電ブレーカーの普及、防火施策の実施）	・町内会の今後の在り方→地区の整理、組織の見直し ・空き家が増えてきて自然災害等、火災の不安がある。
ヒト・モノ	・町内会の役の担い手が困難となり、入会者減少。活動継続危機 ・高齢の方が多く子どもの人数が少ない	・行政と関係していると担当課がたて割りになって、共通に話し合うようなテーマが進みにくい。（高齢者問題、防災問題、交通問題）	
モノ	・防災（耕作放棄→火災） ・一人住まい世帯が今後増えると思われます！安心安全に暮らしていくための方策は何！ ・老人から若い人に役割を移行しないと役割分担がむずかしくなる	・公園少ない→遊具の充実→住民の満足 ・新住民との連携（町内会、消防団の減少を止める） ・路線バス等公共の移動手段が少ない。車での移動がほとんど	・空き家（防犯、火災） ・駅周辺における再開発・道路、駅ロータリーの拡張・高速バス便数、岩根駅に総武快速の停車、木更津川崎カーフェリー
モノ・カネ		・老年人口は増加が減少に移り、労働人口も増加しているが、減少に移る。 ・幼年は減少して木更津市の人口は全体的に減少する。財政は良いが悪くなる。 ・新鮮でおいしいの交流をアクアラインの外に交通手段を考える。潮ひがり、地ビキ網、アウトレット、コストコ、体験農業	・上下水道→住環境
カネ			・どうなる久留里線！どうする久留里線！木更津市民としてどうする！
カネ・その他	・町内会など地域の役員などの成り手がいない ・町内会の役員の後任がなかなかみつからない！何か良い方法は？ ・行政の定年制の上限を作り地域の役に立つ役割を行う。定年の後は地域へ	・コミュニティバス（地区内、各病院） ・巖根駅（JR）東口改札口は出来たが、総武快速停車を実現して欲しい！	
その他	・人任せにしないで自分で行う。出来ない人の手助けをする。	・インフラ（交通網：バス、駅のロータリー） ・インフラ（高速バス：駐車場、送迎）	

意見の要点（金田地区まちづくり協議会）

01 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり ／子どもを育む環境づくり

急激な都市開発に伴う事故や渋滞対策、警察駐在所の交番への格上げ、大学病院の誘致や病床確保など医療体制の充実、子育て・高齢者向けの支援強化に関する意見が多い結果となりました。



交通安全
渋滞対策



医療体制の
充実



子育て
高齢者支援

意見の要点（金田地区まちづくり協議会）

02 まちを支える人づくり／まちのにぎわい・活力づくり

転入者の自治会加入率の低さから新住民が孤立しないコミュニティづくりや子育て支援施設の整備、道の駅やファミリーレストランの誘致に関する意見が多い結果となりました。



新住民の
孤立防止



子育て世代の
定住促進



利便施設の
誘致

03 まちの快適・うるおい空間づくり／構想の実現に向けて

小規模な住宅開発に対して全体的な開発整備や駐車場整備、市民会館の新築、憩いの場となる公園整備、津波対策に関する意見が多い結果となりました。



全体的な
開発整備



文化・
憩いの場

意見のとりまとめ（金田地区まちづくり協議会）



	選択テーマ1 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	選択テーマ2 まちのにぎわい・活力づくり	選択テーマ3 まちの快適・うるおい空間づくり
ヒト	・子育て支援策up ・高齢者支援策up ・安心して住める災害対策（津波対策） ・渋滞対策 ・子供、高齢者に安全な街。孤独死のない、独り者の見守り	・他の移住したい町の調査（印西市等）→何が人気の理由なのか、木更津に何が足りないか改善点を見つける ・地域社会コミュニティを尊重するまち	・現在草があるところを整備して駐車場にする
ヒト・モノ	・家・人・車も多くなりました。にぎやかになるのは結構ですが事故が多い ・新住民の自治体への加入者が少ない	・転入者の自治体への入会 ・転入者が孤立しないまちづくり ・人口の増加 ・子育て世代の定住促進 ・各公共施設・商業施設にオムツ交換台や遊び場の設置 ・子育て支援館の整備	・住宅開発について、小規模開発が多く全体的に開発整備ができていない
モノ	・警察駐在→交番に格上げしてほしい ・子どもの塾が少ない、木更津駅まで安全に行ける交通機関がほしい ・医療体制の充実、救急医療の安定体制づくり ・大学病院が来てほしい ・明るい街 ・入院できるような病院があるとよい ・ケアマネージャー事務所が少ない ・ショートステイ対応施設が増えるとよい ・避難要支援者の対応をどうしていくか（自助、共助をすすめるためにどうしたらよいのか）	・道の駅、トイレ、休憩所の作成 ・ファミレスが欲しい ・中郷地区：金田の次にアクアラインに近い場所なので宅地を開発しやすいように整備（高齢化が進み自治活動の困難化）	・住宅地（購入しやすい価格）だが津波が心配 ・市民会館の新築（陸上競技場は整備されたが文化の中心がないので…） ・公園の整備（子どもの遊び場、避難場所、市民憩いの場としての整備）
モノ・カネ	・ゴミステーションをもっと作ってほしい ・アウトレットを含む周辺の交通 ・ごみの回収方法 ・児童・生徒が通学路として使う学校周辺の道路に注意を促す路面塗装 ・自転車用道路の整備 ・地域コミュニティの充実、近所づきあい	・湾岸道路の整備 ・金田～駅前の交通アクセスの整備	・土地の活用でまだ決定されていないところがあるので早く売買されてほしい
カネ	・道路が良くなり便利になったが田の中の細い道まで他ナンバーの車が無理やり割り込んできて危険である ・車が多くなりはっきりとした標識がなく危険な交差点が多い、カーブミラー等の設置を希望する	・バスターミナルハブ化の実現 ・駅前・市役所の駐車場について	・潮干狩りが混むので迷惑 ・路線バスが欲しい ・東京方面のバス乗継がありますが全日返る足、駐車場ない
カネ・その他	・土日、祭日等は交通渋滞が発生しており15時以降は自宅から出られない ・渋滞のない道路が欲しい（アウトレットへのアクセス改善） ・中野畑沢線の完成		
その他	・道路路肩の草刈りの実施 ・信号機の設置 ・道路の整備 ・ゴミの不法投棄が多い ・ゴミ分別が難しい ・住民が安心して暮らせるまちづくり、持続可能な交流づくり	・海岸沿いの道を整備してマラソンや自転車、散歩に利用できる素敵なまち ・学校教育と商業施設の連携（金田小中とアウトレット等の連携→地域活性化）	・東京等都心へのアクセスが市内No.1→交通改善、若い世代が多くなりよりよい街に ・海があることの魅力。水産、観光、教育と連携し、将来へつなげる

意見の要点（鎌足地区まちづくり協議会）

01 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり ／子どもを育む環境づくり

若者の減少に強い危機感があり、定住・人口増加による地域活性化を目指すために土地利用の規制緩和やデマンドタクシーなどの交通環境の充実に
関する意見が多い結果となりました。



高齢化・
人口減少



土地利用の
規制緩和



移動・
インフラの
確保

意見の要点（鎌足地区まちづくり協議会）

02 まちを支える人づくり／まちのにぎわい・活力づくり

鎌足桜を中心とした公園の充実、農産物のブランド化、マーケットの開催など地域資源の活用、スクールバス活用などの子育て・移住支援、スポーツ施設の拡充に関する意見が多い結果となりました。



地域資源の
活用



子育て・
移住支援



生活利便性の
向上

意見の要点（鎌足地区まちづくり協議会）

03 まちの快適・うるおい空間づくり／構想の実現に向けて

アカデミアパークで働く人のために地区内へ住宅地の造成と美しい田園風景などの景観維持の双方向の視点、デマンドバスの拡充、鳥獣被害対策に関する意見が多い結果となりました。



宅地化と
自然維持



移動手段の
拡充



農業振興・
鳥獣被害対策

意見のとりまとめ（鎌足地区まちづくり協議会）



	選択テーマ1 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	選択テーマ2 まちのにぎわい・活力づくり	選択テーマ3 まちの快適・うるおい空間づくり
ヒト	・高齢者でも安心安全に暮らせるまち ・人口減少 特に若者 ・住宅地の造成による人口増を図る ・人口減少 ・定住・人口増により子どもたちが増え活気があふれるまちづくりを図る ・高齢者支援の充足（高齢者の足など） ・地域住民の高齢化 ・外国人労働者交流 ・安心な鎌足地区づくり⇒防犯体制の充実。主な道路への防犯カメラの設置 ・自然豊かな鎌足に家を建てたい人への支援	・人が集まるまちづくり 活力 ・鎌足桜を中心とした公園の充実 ・子育て支援の充実。小中学校の通学にスクールバスの活用 ・少子化対策 近所に子供がいない ・少子高齢化⇒人口減少 ・少子高齢化 ・市街地との地域格差	・整備された豊かな支援 ・環状貿易撤退要求！ ・アカデミアで働く人が増えているので地区に住宅地を造成する ・人と人とのつながりの強化
ヒト・モノ	・高齢化対策 ・高齢化し、住民が少なくなる現状打開のために少し調整区域をはずして活性化を計る	・スポーツ施設の拡充。プール・運動場・野球場 ・矢那の農産物のブランド化 ・グリーンツーリズム アグリーツーリズム⇒移住者→連携する	
モノ	・交通環境の充足 デマンドタクシー等 ・文化的施設を誘致する ・土地の有効利用	・少子化 ・少子化ストップ ・生活の利便性を図るために道路整備を図る ・農産物を持ち寄って行う 朝市とかマーケットなどを行い、広く近隣の人に地域の良さをアピールする ・移住者に優しい地域	・市街地に近い農地の宅地化へ ・自然豊かな景観維持※田園風景など ・暮らしに必要な足の確保。市バスに代わるデマンドバスのような便利に使えるシステムを拡充してほしい。 ・生活環境 ・買い物 ・高齢者が安心して生活できる鎌足⇒「足」の確保
モノ・カネ	・防犯体制の充実について 防犯カメラを数多く設置 ・消防団問題 ・地域消防の統合 5分団3コ部を1か2部に	・アカデミアに会社が進出しているので地元の職員採用をしてほしい。	
カネ	・防犯の充実 安心安全なまちづくり 防犯カメラ設置 ・ポテンシャルが活かされていない ・自然豊かな地域の特色をいかした自然観察や運動のできる公園を作る ・耕作放棄地の増大	・モータースポーツ推進 ・アカデミアの活用。地域との連携 ・有害鳥獣被害	・鳥獣被害対策推進 農業振興 ・鳥獣対策
カネ・その他	・鎌足をウォーキング、ランニングの地に	・空き家対策 有効活用 ・イノシシ対策にもっと費用をあててほしい	
その他	・矢那川の整備 水害の未然防止 良好な景観造り ・規制緩和 ・保全と利用	・マダケのタケノコで特産品 ・商業施設 歩いて行けるところにお店を ・インフラ整備の遅れ	・ゴミの無い街不法投ぎ ・公園の除草 ・空き家問題 ・道沿いの草刈り作業

意見の要点（中央地区まちづくり協議会）

01 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり ／子どもを育む環境づくり

道路整備や歩道の設置など交通安全・身近なインフラ対策、水害や火災に強いまちづくり、町内会への参加促進や外国人の生活文化の違いへの対応に関する意見が多い結果となりました。



身近な
インフラ・
安全対策



コミュニティ
の課題

意見の要点（中央地区まちづくり協議会）

02 まちを支える人づくり／まちのにぎわい・活力づくり

高齢者が買い物をする場所がないこと、新規の文化芸術施設との連動、駅・金田地区・潮浜地区・鎌足地区などの地域間連携、交通手段の確保に関する意見が多い結果となりました。



高齢者の
買い物と
地域間連携



文化施設との
連動・
アクセス

意見の要点（中央地区まちづくり協議会）

03 まちの快適・うるおい空間づくり／構想の実現に向けて

景観を支える取組として太田山公園をはじめとする公園の適切な整備、防犯・環境維持のため空家の適切な管理に関する意見が多い結果となりました。



景観・
環境管理

意見のとりまとめ（中央地区まちづくり協議会）



	選択テーマ1 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	選択テーマ2 まちのにぎわい・活カづくり	選択テーマ3 まちの快適・うるおい空間づくり
ヒト	・町内会への参加		・公園の整備 ・太田山公園の整備
ヒト・モノ			
モノ	・中野畑沢線の整備（交通安全対策の充実） ・田茂通りに歩道 ・神社・寺院の活用 ・水害への対応（対策） ・歩道、側溝の整備 ・消火栓、消火器の設置 ・防犯カメラの設置 ・災害に強い街づくり	・買い物をする場所がない（高齢者） ・吾妻にできる文化施設との関連性 ・駅、金田、潮浜アカデミアとの連携 ・芸術文化地域への交通手段 ・東、西の連携 ・吾妻公園までの導線	・空き家の管理
モノ・カネ			
カネ			
カネ・その他			
その他	・外国人のマナー、生活文化の違い		

意見の要点（請西・真舟小地区まちづくり協議会）

01 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり ／子どもを育む環境づくり

認知症高齢者に優しい街の実現、安価で自由に移動できるコミュニティバス、安心して暮らせる地域交流の活性化に関する意見が多い結果となりました。



高齢化と
移動支援



地域交流

意見の要点（請西・真舟小地区まちづくり協議会）

02 まちを支える人づくり／まちのにぎわい・活力づくり

こどもたちが将来も住み続けたい魅力ある地域づくり、多世代交流の重視、渋滞改善や生活道路の安全対策に関する意見が多い結果となりました。



多世代が
住み続けたい
まち



交通安全対策

03 まちの快適・うるおい空間づくり／構想の実現に向けて

公園内への桜の植樹、豊かな自然を活かした観光資源としての近代的な整備、歩いて健康づくりができる足湯や庭園のある公園、ゴミステーションの管理に悩まない環境に関する意見が多い結果となりました。



自然と
健康づくり



ゴミステーションの
管理

意見のとりまとめ（請西・真舟小地区まちづくり協議会）



	選択テーマ1 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	選択テーマ2 まちのにぎわい・活力づくり	選択テーマ3 まちの快適・うるおい空間づくり
ヒト	・各地域の良好な交流 ・集会所をフル活用 ・真舟地域の高齢化、認知症が増えている →認知症高齢者に優しい街 ・行きたい場所になるべく自由に、なるべく楽に、なるべく安く移動することができる街	・今いる子供が将来も住み続けたいと思ってくれる地域 ・請西南公園、平地がない	・公園敷地内に桜の木が欲しい。各公園少数だと思う ・観光資源としての自然を中心に周辺の整備（安全に、近代的に）
ヒト・モノ	・地域で楽しく活動する ・木更津駅前ロータリーが狭い（ローソン店が拡張した）	・子どもから高齢者まで交流のある地域	・歩いて健康づくりができる街（公園に足湯とか）（庭園が整備されている） ・桜並木のような道
モノ	・公共交通がもっと便利になると通勤、通学、買い物交通弱者には助かる（コミュニティバスの推進） ・請西、真舟から駅までのルート ・バスの本数が少なくて親の送迎が大変 ・自助、共助で安心して暮らせる地域	・渋滞の改善 ・歩道の設置 ・狭い道路の解消 ・一時停止の設置	
モノ・カネ	・交通の便が悪い ・交通機関で移動ができるといい ・外国人が増えてきているので防犯灯の設置。真舟のような青いランプを請西にも設置してほしい ・交通費の助成（大学の通学など）、障がい者へのタクシー代助成、ガソリン代の助成	・高齢者が楽しめるまち	・ゴミステーションに悩まないまち
カネ	・降水時、志学館高校マイカーが多い、渋滞する	・八王子方面に大学が多い、木更津市内でも大学ができるだけの用地はあるが… ・人が木更津に集まって活性化する	
カネ・その他	・下水道の整備 ・交通事故の少ない街 ・移住者にやさしいまち ・高齢者が安心できる街		・魚を釣れる場所が欲しい ・桟橋を海側に伸ばす ・親子で遊ぶ時間を
その他			

意見の要点（中郷地区まちづくり協議会）

01 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり ／子どもを育む環境づくり

厳しい建築・土地規制により新しい家が建築できないこと、狭い通学路の安全対策、深刻化する少子高齢化、歴史や資源の活用に関する意見が多い結果となりました。



厳しい建築・
土地規制



通学路・道路
の安全性



地域資源の
活用

意見の要点（中郷地区まちづくり協議会）

02 まちを支える人づくり／まちのにぎわい・活力づくり

人口減少と働く場の不足、農業の担い手不足、都市計画道路の早期整備、スポーツと農業を連携させた地域活性化に関する意見が多い結果となりました。



人口減少・
後継者不足



生活利便性と
交流

意見の要点（中郷地区まちづくり協議会）

03 まちの快適・うるおい空間づくり／構想の実現に向けて

豊かな自然がある一方で買い物する場が無く、車の運転ができないと生活できない、新しい住宅地、下水整備、デコボコで暗い道路の安全対策に関する意見が多い結果となりました。



インフラの
不足

意見の要点（中郷地区まちづくり協議会）

04 都市計画道路（中里曽根線）の早期整備促進について

民家を迂回するなどにより早期整備、道路整備を契機に土地利用規制の緩和、交通の便を活かした物流拠点などの誘致に関する意見が多い結果となりました。



早期整備の
要望

規制緩和と
開発



05 有吉地区のローヴァーズ周辺の開発について

農業アルバイトとの連携、道の駅などスポーツ施設を核にした開発・産業振興に関する意見が多い結果となりました。



スポーツ×
農業の
地域活性化



意見のとりまとめ（中郷地区まちづくり協議会）



	選択テーマ1 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	選択テーマ2 まちのにぎわい・活力づくり	選択テーマ3 まちの快適・うるおい空間づくり
ヒト	・中郷の米（おいしい）何かに利用する ・魅力ある職場がたくさんある、子ども達が就職したいところ ・自然を大切に作る姿勢→ビオトープ、農業体験 ・中学校がほしい	・農地は誰が継承するのか ・地域活動の担い手不足 ・子供が少ない ・人口減少率が高い ・働く場所が少ない ・人口減少・高齢化 ・少子高齢化 ・人口減少 ・若い人が出てしまう ・交流人口や若い世代を呼び込む拠点となりうる ・農振農用地であっても、地域未来投資法で広大な面積を転用することが可能であるはず ・土地の利用方法→どのようにPRしていくか ・農業の担い手がいらない ・ゆるやかな人口増加 ・乱開発の防止 ・地下評価額 ・企業の誘致	・空気がきれい、富士山が良く見える ・仲郷の特産物（梨、とうもろこし）→後継者不足で存続可能か ・地域の姿・役割を守る→木更津の米どころ、富士山が見える地域 ・自然が豊かであること ・空き家バンクで家・土地をもらうことができる ・ゴミがなくクリーンな街 ・産業廃棄物が集まらない ・基幹道路の整備→物流の強化・観光育成
ヒト・モノ			
モノ	・隣町との道路接続が必要 ・道が狭い ・歩道がない ・大型ダンプの通り抜け ・スクールゾーンを設ける ・道路が抜道となっている ・農振農用地の指定で規制が厳しい ・建築制限が厳しい ・調整区域で建物が建てられない（建てにくい） ・市街化調整区域 ・団地など新住民が来ない ・空家増えている ・行政ルールや規制が現状に合っていない（改善されていない） ・消火栓がない ・地域の歴史・文化遺産の広報、教育 菅生貝塚・もうだ布	・住民による危機管理や活力の維持が難しい ・買い物ができるところ ・畑や田んぼの利用（農業やそれ以外） ・高齢化 ・全国から人が訪れるようなイベントや祭りがあると良い	・コンビニがない ・お店がない ・商店がない ・コンビニ・飲食店等の誘致 ・住宅地がほしい ・交通の便が良い ・新しい家が建てられない ・免許がなくなったら生活できない
モノ・カネ			
カネ	・動物と畑→いっしょにやりたい、ドッグラン ・住宅が建てられなようにしたい	・子供が遊べる公園がない ・田園の観光化→例 見沼たんぼ ・お祭りが続き花火があがること	・風が強い ・休耕田を売らないでほしい→ヒマワリ（花を植える） ・市の税金が他の市より高い ・耕作放棄地を公園にする ・ブランド力のある農産物
カネ・その他			
その他	・都心に近い ・首都圏に通勤・通学ができる ・中郷地域は、広域交通の結節点になりうる土地 ・インターチェンジのある街をどう生かすか ・条例改正で、昭和44年以前の建物であれば購入者はその土地に家を建てること	・地域外の子どもを受け入れ、地域で育てる ・子供たちの学区が自由に選べるため、子供が少なくなる ・企業誘致できると良い ・中郷で見ることができる動植物の紹介	・原風景を守る→ストックヤード反対！ ・バズる景観 ・ドラマのロケ地、聖地化 ・アクアライン連絡道の周囲の利用方法 ・連絡道の側道が賑やかになるとよい

	A 都市計画道路（中里曽根線）の早期整備促進について	B 都市計画道路（中里中曽根線）の早期整備促進について	C 有吉地区のローヴァーズ周辺の開発について
	・たんぼを売って金持ちになりたい ・計画上の民家を迂回する計画とすることで、早期買収できる ・なるべく直線道路 家があれば移転 ・曽根地区の住宅地を通るのはおかしい、井尻周辺も同様 ・十日市場1番地に「イケア」が来る 船橋→中郷へ ・交通の便が良くなり、産業が活性化する ・小学校前の渋滞の解消 ・今からでも路線決定して用地買収しやすい路線を決めてください ・平成通りとアクアライン連絡道を優先して接続してください ・広域連携が可能とする ・救急搬送 ・物流が良くなる ・地域拠点形成 ・側にコンビニ作って ・コンビニ ・保育園 ・梨園等観光農園+駐車場 ・ホームセンターが出来て便利になる ・企業認知 ・人口増加 ・民家が増える ・住宅が増える	・梨畑で火を燃やせない ・農振を外すのは区分けが必要 ・ゴミが多くなる ・草むらが増える ・親戚や子どもが家を建てる ・交通の便がよい ・人を増やしたい ・物流の拠点 ・ホテル ・官庁よび ・市役所をもってくる ・中郷小学校の通学路が安全になる ・マンション ・住宅地 ・高速バスのバス停がある ・道の駅 ・プロ野球・プロスポーツの合宿	・サッカー学校舎 ・選手宿泊所（農業アルバイト併） ・道の駅

意見の要点（八幡台小学校区まちづくり協議会）

01 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり ／子どもを育む環境づくり

市からの要望による「まち協」の負担過大と地域疲弊、医療・介護機関がないこと、湧水やソーラーパネルの活用など独自の防災体制づくりに関する意見が多い結果となりました。



まち協への
過度な負担と
疲弊



医療・介護の
空白



独自の
防災体制の
強化

意見の要点（八幡台小学校区まちづくり協議会）

02 まちを支える人づくり／まちのにぎわい・活力づくり

飲食店など集う場所がない、スポーツイベントを通じた地域事業、近隣地区との連携、木更津港の活用に関する意見が多い結果となりました。



集う場所の
不足と
地域事業

意見の要点（八幡台小学校区まちづくり協議会）

03 まちの快適・うるおい空間づくり／構想の実現に向けて

イノシシなどの害獣対策、コミュニティバス運行事業者の資金難への資金補助に関する意見が多い結果となりました。



害獣問題



交通インフラ
と
資金補助

意見のとりまとめ（八幡台小学校区まちづくり協議会）



	選択テーマ1	選択テーマ2	選択テーマ3
	安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	まちのにぎわい・活力づくり	まちの快適・うるおい空間づくり
ヒト	・まち協について→市からの要望がまち協負担大…、これ以上は疲弊してしまう ・医療機関→八幡台にはない（高齢者増だけど…）	・飯・飲食店がない→集う場所	・獣害→イノシシ・鹿・キョン・アライグマ・ハクビシン
ヒト・モノ			
モノ	・空き家対策→独住・孤独死、防犯、ネコの住み着きで近所トラブル ・自治会→入会は任意の風潮、市がもっとプロモーション	・港→木更津港の活用、フェリー新規航路 ・地域事業（むすびつき）→スポーツなど（たこあげ、ちびっ子マラソン、スポレク大会）	・交通対策→広い歩道に自転車の通行路 ・交通→高速バスの乗り換え ・道路→街路樹などの劣化 ・交通対策→羽鳥野バス停休むスペースがない ・コミュニティバス→八幡台のNP0ライフサポート波岡、利便性よく需要はあるが資金難、市からの補助金なし ・アクアライン→6車線化、モノレールを木更津駅まで ・孤立の可能性？雪が降ると車が立ち往生して帰れなくなる？
モノ・カネ			
カネ	・防災対策の強化→給水拠点、上島田の自噴湧水、水質検査 ・ハートケア八幡台の貯水槽を使えるように連携している ・防災対策の強化→非常電源、ソーラーを持っている家庭との連携、避難所にソーラーの設置 ・防災対策の強化→行政無線の災害時の連絡が一方通行		
カネ・その他			
その他	・老人対策→老人施設が少ない、特養少ない	3地区の連携→市からの支援もほしい、とても良い関係	

意見の要点（畑沢地区まちづくり協議会）

01 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり ／子どもを育む環境づくり

高齢化に対応したアクセス手段の確保、防災拠点の整備・充実、防災対策に関する意見が多い結果となりました。



高齢化と
防災力の強化

意見の要点（畑沢地区まちづくり協議会）

02 まちを支える人づくり／まちのにぎわい・活力づくり

新旧居住者や世代間での興味や意識のズレ、町内会の活動停滞、スポーツ施設の設置に関する意見が多い結果となりました。



住民間の
意識のズレ



環境と
スポーツ

意見の要点（畑沢地区まちづくり協議会）

03 まちの快適・うるおい空間づくり／構想の実現に向けて

有償ボランティアによるオンデマンドバス、君津中央病院を核とした交通機関の充実、都市計画道路（中野畑沢線）の早期開通に関する意見が多い結果となりました。



交通インフラ
の早期改善

意見のとりまとめ（畑沢地区まちづくり協議会）



	選択テーマ1 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	選択テーマ2 まちなぎわい・活力づくり	選択テーマ3 まちなぎわい・うるおい空間づくり
ヒト	・地域の高齢化 ・高齢化対策（アクセスの確保） ・防災訓練への呼びかけ参加を！	・在来居住者と新規居住者の意見のまとめ ・世代別の興味・意識のズレ ・町内会の活動、交流なし（活性化に期待！）	
ヒト・モノ			
モノ	・防災拠点の整備 ・避難所の収容キャパ・資材の確保	・地域ねこの問題 ・スポーツ施設がない ・町内会に参加する異議なし？→まち協の先導！	・バス代が高い ・地域の空き家 ・ボランティア（有償）によるオンデマンドバス 港南台、畑沢+（八幡台、大久保） ・君津中央病院を核にした交通機関を充実させる ・中野畑沢線の完成 ・中野畑沢線の早期開通 ・大久保駅を復活させる ・波岡交差点にもう一つ港南台から国道に通じる道を！ ・公共交通の充実（中心市街地へのアクセス）
モノ・カネ			
カネ			
カネ・その他			
その他	・災害発生時の避難方法		・市と地域（まちづくり協議会）の関係性の明確化

意見の要点（波岡まちづくり協議会）

01 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり ／子どもを育む環境づくり

坂道の多い地形に対応したコミュニティバスなどの移動手段の確保、高齢者の孤立対策、相談体制の充実や詐欺防止のための防犯ボックス設置に関する意見が多い結果となりました。



高齢者の孤立
・ 移動対策



相談体制と
防犯の強化

02 まちを支える人づくり／まちのにぎわい・活力づくり

多世代の交流・居場所、ミドル世代も巻き込んだ見守り人の育成、地域活性化のためのイベントづくりに関する意見が多い結果となりました。



多世代の交流
と居場所



地域イベント
の創出

03 まちの快適・うるおい空間づくり／構想の実現に向けて

次世代に学びの環境を支えるため、社会教育活動の基盤となる社会教育予算の充実に関する意見が多い結果となりました。



社会教育の
充実

意見のとりまとめ（波岡まちづくり協議会）



	選択テーマ1	選択テーマ2	選択テーマ3
	安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	まちのにぎわい・活力づくり	まちの快適・うるおい空間づくり
ヒト	・高齢者へ日常利用、相談できる人、組織を明確に周知する ・高齢者の引きこもり対策 ・課題を抱えた子・親・家族へ支援・相談体制の充実→現在は少なすぎ、週2回の相談日に ・福祉の意識向上（助け合い） ・高齢者の通院、買い物支援 ・高齢者が多い→小売店、移動スーパーなどの充実	・障がい者や高齢者の交流の場の充実 ・子供が立体的に遊べる環境づくり ・見守る人の育成 ・子供から大人まで気軽に集える場所づくりを提供 ・丁目毎の交流する行事がない ・当地区のにぎわいが少なく、イベントづくりを行う ・ミドル世代の交流社会参加の企画	
ヒト・モノ			
モノ	・医療機関までの移動手段が限られている、多様化する ・坂道が多い、移動手段、コミュニティバス、オンデマンドタクシーなどの導入 ・買い物できるところが近辺にない、スーパー等までの移動手段がない	・自治会、まち協への参加者の増加、地域コミュニティの復活 ・地域コミュニティが活発に活動できる人の交流を生む企画 ・空き家の植栽、防災・防犯・大災の心配 ・空き家の増加 ・防災、7丁目に分かれて防災機材・備品があり、全体の集約が必要 ・地区内の若い人、優秀な人材をまきこむ	
モノ・カネ			
カネ	・市民が力をつけていける学習の充実、社会教育の内容、担当者の育成 ・災害時で住民個人の家での備蓄品及び機材の把握、可能な限り ・防災、大きな地震が発生したとき、支援が必要な人へのサポートを行う ・減災への個々の意識を求めている		・社会教育予算を多く
カネ・その他			
その他	・防犯ボックスの設置（詐欺被害等の防止）		

意見の要点（西清川まちづくり協議会）

01 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり ／子どもを育む環境づくり

ゴミ問題解決に向けた共同清掃、地域コミュニティ活性化のための子どもの食事情に関する統計調査に関する意見が多い結果となりました。



ゴミ問題と
地域活動



子どもたちの
支援

意見の要点（西清川まちづくり協議会）

02 まちを支える人づくり／まちのにぎわい・活力づくり

高齢者の居場所づくり、教育・産業振興を包括した地域コミュニティの形成、地域の活気づくりに関する意見が多い結果となりました。



高齢者の
居場所と産業

03 まちの快適・うるおい空間づくり／構想の実現に向けて

移住者の多さに比べて町内会への加入や交流が少ない、空家の増加、要支援者名簿の活用不足、移動の改善、公園等への遊具設置、太陽光発電によるエネルギーの地産地消に関する意見が多い結果となりました。



町内会の加入
と見守り



移動と
遊具の不足

意見のとりまとめ（西清川まちづくり協議会）



	選択テーマ1 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	選択テーマ2 まちのにぎわい・活力づくり	選択テーマ3 まちの快適・うるおい空間づくり
ヒト	・西清川と八幡台で実証実験が計画されているが背景と計画が見えない ・ゴミステーションへの不法投棄 →犯人捜しはできないのでみんなで掃除 ・ゴミのない街がいい →ゴミ拾いを行う ・まち協と市職員の具体的な連携がとれていない	・コミュニティ 高齢者の居場所づくり 教育	
ヒト・モノ	・子どもたちのリアル食事情が知りたい →統計をとる		
モノ	・子ども食堂の事情を知りたい ・地域コミュニティの活性化につながるまちづくり	・産業振興	・移住者は多いが町内会や子供会に入る家庭が少ない ・空き家が多くなってきて、安心感がない。交流したいが人が外に出てこない ・要支援者名簿の具体的支援連携活動ができていない
モノ・カネ	・子どもたちの笑顔の根底＝おなか一杯食べれているかどうか		・人が集う場所があるのに移動するのに時間や身体に支障がある。改善・対応してほしい ・田畑に太陽光パネルの設置 エネルギーの地産地消
カネ	・がけ崩れ・浸水対策の徹底		・遊具がほとんどない小学校や公園が多くある 市で補助できないか
カネ・その他	・災害に強いまちづくり 2019年千葉県台風などに対するその後の取組ができていない		
その他	・歩道がない、狭い ・夜になるとかなり暗い 街灯を増やせないか		・害獣対策 ・中心市街地に近く住みやすい 移住者を呼び込むといい ・道路の状態が悪く歩きにくい。国道沿いの歩道が狭い

意見の要点（清見台・太田地区まちづくり協議会）

01 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり ／子どもを育む環境づくり

高齢化による脱退や若者の未加入によって自治会の維持が困難、自治会長の負担軽減や役員・消防団のなり手不足に関する意見が多い結果となりました。



自治会の維持

意見の要点（清見台・太田地区まちづくり協議会）

02 まちを支える人づくり／まちのにぎわい・活力づくり

高齢者支援などをボランティアに頼ることの限界、地域の維持・活性化していくための持続可能な仕組みづくりに関する意見が多い結果となりました。



高齢者支援の
限界

03 まちの快適・うるおい空間づくり／構想の実現に向けて

ゴミステーションでの不法投棄や管理不足、野良猫問題、公園樹木や遊具の管理向上、防犯や安全のための空き家の有効利用に関する意見が多い結果となりました。



ゴミと
環境管理



公園と
空き家管理

意見のとりまとめ（清見台・太田地区まちづくり協議会）



	選択テーマ1 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	選択テーマ2 まちのにぎわい・活けづくり	選択テーマ3 まちの快適・うるおい空間づくり
ヒト	・自治会の維持存続が難しい ・住民は全て町内会に入会すること ・子供会の活性化	・ボランティアに頼ることには限界がある	・野良猫の問題。市負担で対応希望 ・ゴミ収集場の管理 市が主体でリードする ・ゴミステーションに不法投棄が見受けられる
ヒト・モノ	・町内会の役員なり手がいない ・高齢化で会からの脱退増加 ・若い人が多くなっているが入会者は少ない ・消防団のなり手がいない		
モノ	・町内会会長の負担が重すぎる	・高齢者の支援	・公園の遊具を新しくする、増やす ・ゴミ置き場が少なくあふれているところがある（一か所に集中） ・公園の整備と管理の向上（樹木、遊具、ベンチ）
モノ・カネ	・防災への関心が非常に低い ・防犯カメラを市で設置してほしい		・空き家の管理 有効利用の検討・推進 ・空き家をなくしてほしい
カネ	・子どもがいる世帯にもっと補助を		・道路標識が落下していて交通が守られていない
カネ・その他 その他	・消防団への補助金は町内会が負担しているが、町内会会員が減れば負担が増える		・街路樹をしっかりと管理してほしい

意見の要点（東清川地区まちづくり協議会）

01 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり ／子どもを育む環境づくり

高齢者の通院や買い物の利便性を高めるオンデマンドタクシー導入や、市内無料循環バスの拡大、配食サービスの条件緩和、保育園増設に関する意見が多い結果となりました。



移動・見守り
支援の充実



子育て環境

意見の要点（東清川地区まちづくり協議会）

02 まちを支える人づくり／まちのにぎわい・活力づくり

駅を中心とした地区の活気を取り戻すまちづくり、オンデマンドタクシーの早期実現など市内移動手段の増加に関する意見が多い結果となりました。



駅中心の
活気の復活



交通利便性の
早期改善

意見の要点（東清川地区まちづくり協議会）

03 まちの快適・うるおい空間づくり／構想の実現に向けて

地域の歴史「椿」「鎌足桜」を活かした公園づくりや、ゴミの管理、野良猫対策、犬の糞尿などマナー改善、朝晩の交通渋滞の解消に関する意見が多い結果となりました。



歴史と自然を
活かした空間

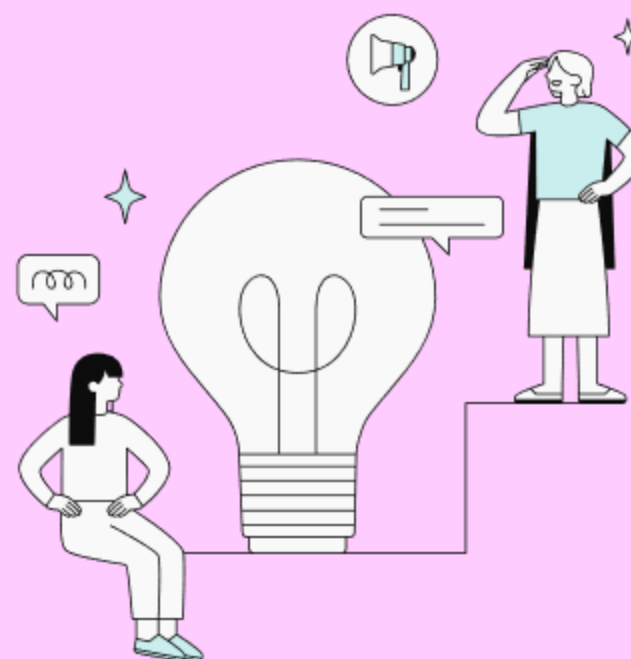


住環境改善と
渋滞解消

意見のとりまとめ（東清川地区まちづくり協議会）



	選択テーマ1 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	選択テーマ2 まちのにぎわい・活力づくり	選択テーマ3 まちの快適・うるおい空間づくり
ヒト	・オンデマンドタクシーを走らせる ・市役所利用者の無料巡回バスを市内全体に広げる	・市内の移動が不便。オンデマンドタクシーを。 ・東清川地区で始めようとしているオンデマンドタクシーを早く実現してほしい	・歴史を活かしたまちづくり
ヒト・モノ	・高齢者の配色利用可能条件の拡大	・移動するのに大変不便。これを改善すれば生活そのものが良くなる	
モノ	・子どもが多い地域に保育園を増やしてほしい	・駅を中心とした地域の活気を取り戻すためのまちづくりを	・木更津市の木である榎をもっと植えて榎公園を作る ・藤原鎌足伝説の鎌足桜をもっと植える。鎌足桜公園を作る
モノ・カネ	・防犯カメラの普及	・金田地区への移動手段を増やす	
カネ	・物価上昇に見合った市民生活の向上のために市立ではない支援を 年収基準の引き上げを	・デマンドタクシー計画の早期実現と市からの補助を多くしてほしい	・アクアコインの使用方法
カネ・その他	・保育料の無償化 ・ゴミ袋を無料に		
その他	・物価上昇に見合った年金の引き上げを ・木更津市の大部分は火燃が禁止されたが安全な燃やし方を研究して行っている ・ボルシェロードがうるさい	・アクアラインに電車を通す	・ゴミステーションの管理体制見直し ・野良猫対策に地域猫活動の活性化 犬の糞尿放置への罰則 ・毎朝晩の交通渋滞が起きる朝日庁舎前から港のカーブまでの渋滞解消施策を



まとめ

テーマ別の意見要約

01 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり ／子どもを育む環境づくり

まとめ
テーマ別の意見要約



移動手段・
交通環境の
充実と対策



医療・介護
体制の確保
と高齢者・
子育て支援



地域コミュ
ニティ・
町内会維持と
共助



土地利用の
規制緩和と
住宅誘致

防災・防犯
と住環境の
対策



02 まちを支える人づくり

／まちのにぎわい・活力づくり

まとめ
テーマ別の意見要約



買い物環境の
確保と
商業・企業誘致



地域資源活用と
イベント・
にぎわいの創出



新旧住民・
多世代交流と
コミュニティ
形成



居場所づくりと
持続可能な
仕組みの構築

インフラ整備と
広域的な
地域連携



03 まちの快適・うるおい空間づくり ／構想の実現に向けて

まとめ
テーマ別の意見要約



生活インフラの
改善と
バリアフリー



公園の整備と
景観・
自然資源の活用



環境衛生・
マナー対策と
空き家管理



深刻化する
野生鳥獣被害へ
の対策

公共交通の
拡充・維持と
財政的支援



タウンミーティングに
ご参加いただきまして
ありがとうございました。
これからも、市民の声を大事に
市政に取り組んでまいります。

